

科目名	アパレル実習Ⅲ				
担当教員	神戸 悠太	実務授業の有無	○		
対象学科	ファッションデザイン科、 ファッション専攻科、 トータルファッション科	対象学年	3・4	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	7	時間数	140時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	1.売り場に合わせた商品展開と企画 2.工場生産での適切な指示、原価計算 3.売り場へ商品が並ぶまでのプロセスの体験と本物の売り場へ自分たちの商品が並ぶ責任を学ぶ				
学習目標 (到達目標)	売り場への商品展開を目的として、職出しの知識と原価から上代設定、下代の仕組みを学習し、売れる商品を企画するノウハウと、商品化までのプロセスを学ぶ				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	作図道具・縫製道具				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	ハンガーイラスト・指示出し		企画アイテムの正確なハンガーイラストと仕様決定		
2	ハンガーイラスト・指示出し		企画アイテムの正確なハンガーイラストと仕様決定		
3	生地・商品リスト決定		生地チェックを受け、フルラインナップの一覧作成		
4	1stパターン作成		パターンチェック		
5	1stサンプルチェック		仮縫いチェック：半身・代替生地		
6	パターン修正		パターンチェック		
7	2nd仮縫い		裁断・芯貼り		
8	2nd仮縫い		組み立て①		
9	2nd仮縫い		組み立て②		
10	2ndサンプルチェック		仮縫い最終チェック		
11	パターン修正		パターン・仕様・生地修正		
12	2ndパターン作成		パターンチェック		
13	職だし		仕様書作成		
14	製品納品		検品・仕上げアイロン		
15	上代決定		上代会議、ディスカッションで上代決め		
16	プロモーション撮影①		撮影・ロケ・モデリング・スタイリング実習		
17	プロモーション撮影②		撮影写真セグメント・商品リスト作成		
18	販売ロールプレイング		接客ロールプレイング実践授業		
19	ディスプレイ決定		ディスプレイレイアウト会議		
20	実践販売		店頭にて実際に接客実践		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
課題：パターン/仕様書 パターン正確性40%、仕様書正確性40%、学習意欲20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			二年間で学んだことを生かし、指定された売り場で売れるための商品企画を意識すること、実際に縫製工場へ職だしするため仕事してのルールや流れを習得すること		
実務経験教員の経歴	オリジナルブランドの経営を12年間、ショップ経営を3年間行っていた				

国際トータルファッション専門学校 シラバス

科目名	アパレル実習Ⅲ				
担当教員	神戸 悠太		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションデザイン科、 ファッション専攻科、 トータルファッション科	対象学年	3・4	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	7	時間数	140時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	1.パターン・トワル制作 2.作品一体の縫製				
学習目標 (到達目標)	3年間の集大成として各自作品1体を縫製し、ファッションショー形式で発表する				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	作図道具・縫製道具				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	1stパターン		平面作図①		
2	1stパターン		平面作図①		
3	1stパターン		平面作図②		
4	トワル制作		作図写し		
5	トワル制作		トワル組みたて		
6	トワルチェック		トワルチェック・生地チェック		
7	2ndパターン		パターン修正		
8	2ndパターン		縫代付け・カット		
9	縫製		裁断・芯貼り		
10	縫製		部分縫い①		
11	縫製		部分縫い②		
12	縫製		組みたて①		
13	縫製		組みたて②		
14	仕上げ・修正		仕上げ・アイロン		
15	作品完成		提出		
16	フィッティング		モデル試着・修正		
17	作品修正		サイズなど修正		
18	最終フィッティング		最終フィッティング		
19	リハーサル		着せ付け・ウォーキングリハーサル		
20	ファッションショー		ファッションショー形式で発表		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
課題：パターン/仕様書 パターン正確性40%、仕様書正確性40%、学習意欲20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下) とする。			課題は全て提出すること 最後の作品として独自性と責任感をもって制作することとする。		
実務経験教員の経歴	オリジナルブランドの経営を12年間、ショップ経営を3年間行っていた				

国際トータルファッション専門学校 シラバス

科目名	アパレル企画Ⅱ				
担当教員	神戸 悠太	実務授業の有無	○		
対象学科	ファッションデザイン科、 ファッション専攻科、 トータルファッション科	対象学年	3	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	7	時間数	140時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	1.オリジナルブランドの立案とプレゼンテーション 2.ファッションショーでの作品発表				
学習目標 (到達目標)	ファッションショーでのコレクション発表				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	Adobe creative cloud				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	導入		コレクションワークとは		
2	ブランド企画		企画書作成作業		
3	ブランド企画		プレゼンテーション前チェック		
4	プレゼンテーション		プレゼンテーション審査		
5	1stパターンワーク		パターン・トワル作業		
6	1stパターンワーク		パターン・トワル作業		
7	トワル・パターンチェック		トワルチェック		
8	2ndパターンワーク		パターン修正作業		
9	2ndパターンチェック		パターンチェック		
10	縫製		裁断		
11	縫製		芯貼り		
12	縫製		パーツ縫い①		
13	縫製		パーツ縫い②		
14	縫製		組みたて①		
15	縫製		組みたて②		
16	縫製		組みたて・裏地つけ		
17	縫製		組みたて・裏地つけ		
18	縫製		完成提出		
19	作品講評		レポート		
20	まとめ		レポート提出・反省会		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
課題：企画書・デザイン画・作品 企画書の完成度20%、デザイン画のクオリティ20%、作品の完成度40%、 学習意欲20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下) とする。			全ての課題を提出すること 期日を守ることを最優先し、お互いに責任を持って作品制 作に当たること		
実務経験教員の経歴	オリジナルブランドの経営を12年間、ショップ経営を3年間行っていた				

国際トータルファッション専門学校 シラバス

科目名	アパレル企画Ⅱ				
担当教員	神戸 悠太	実務授業の有無	○		
対象学科	ファッションデザイン科、 ファッション専攻科、 トータルファッション科	対象学年	3	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	7	時間数	140時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	1.企画書制作 2.プレゼンテーション 3.デザイン描きだし				
学習目標 (到達目標)	3年間の集大成として各自作品1体をデザインし、ファッションショー形式で発表する				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	Adobe creative cloud				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	導入		主旨説明・意識づけ		
2	企画書制作		コンセプトワーク		
3	企画書制作		ターゲット設定・リサーチ		
4	企画書制作		シーズンテーマ設定		
5	企画書制作		カラー・素材・ディテール設定		
6	プレゼンテーション		企画会議		
7	デザイン出し		ラフデザインチェック		
8	1stデザインチェック		ラフデザイン修正		
9	デザインチェック		デザイン画清書		
10	生地・グラフィック決定		グラフィックデザイン		
11	縫製		裁断		
12	縫製		芯貼り		
13	縫製		部分縫い		
14	縫製		パーツ縫い		
15	縫製		組みたて①		
16	縫製		組みたて②		
17	縫製		仕上げ・アイロン		
18	作品完成		提出		
19	作品講評		レポート		
20	まとめ		レポート提出・反省会		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
課題：企画書・デザイン画・作品 企画書の完成度20%、デザイン画のクオリティ20%、作品の完成度40%、 学習意欲20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下) とする。			全ての課題を提出すること 期日を守ることを最優先し、お互いに責任を持って作品制 作に当たること		
実務経験教員の経歴	オリジナルブランドの経営を12年間、ショップ経営を3年間行っていた				

科目名	パターンII				
担当教員	関谷 友子		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションデザイン科、 ブライダルコスチュームデザイン科、 トータルファッション科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	4	時間数	80時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	1、コート製図 2、コートバリエーション、裏地展開 3、ノートをファイリングし提出する。				
学習目標 (到達目標)	ジャケット、コート、ドレスワンピースなどの作図を習得すつことで更に力の向上を図る。またPM検定、技術検定対策も含める。パターンの入力から、CAD/パターンメイキング、縫代付け、グレーディング、マーキングまでを実習する。合同にして実寸の集中とCADの集中を就活に合わせ組めるようにする				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	ジャケット・ベスト、コート・ケープ				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	ストレートシルエットコート作図		コート・ケープP21～24		
2	ストレートシルエットコート作図、袖裏		コート・ケープP95		
3	ストレートシルエットコート作図、袖裏		コート・ケープP95		
4	ラグランスリーブコート作図		コート・ケープP25～31		
5	ラグランスリーブコート作図		コート・ケープP25～31		
6	ラグランスリーブコート作図		コート・ケープP25～31実寸		
7	ルダングト作図		コート・ケープP32～34実寸		
8	ルダングト作図		コート・ケープP32～34		
9	ルダングト作図		コート・ケープP32～34実寸		
10	ルダングト作図		コート・ケープP32～34実寸		
11	トレンチコート作図		コート・ケープP39～42		
12	トレンチコート作図		コート・ケープP39～42		
13	トレンチコート作図		コート・ケープP39～42実寸		
14	トレンチコート作図		コート・ケープP39～42実寸		
15	トレンチコート作図		コート・ケープP39～42実寸		
16	ダッフルコート作図		コート・ケープP47～49		
17	ダッフルコート作図		コート・ケープP47～49		
18	フード付き作図		コート・ケープP69～72		
19	フード付き作図		コート・ケープP69～72		
20	復習		ノートをまとめて提出		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
ノート提出40%、試験60% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			作図方法が合っているだけでなく、綺麗な線、曲線、各アイテムをバランス良く引くようにする。		
実務経験教員の経歴	アパレル業でパタンナー歴7年、生産管理8年、CADオペレーター歴3年係わっていた。				

科目名	パターンⅡ				
担当教員	関谷 友子		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションデザイン科、 プライダルコスチュームデザイン科、 トータルファッション科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	4	時間数	80時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	1、各アイテムバリエーション製図 2、2ndパターン、工業用パターンの習得 3、ノートをファイリングし提出する。				
学習目標 (到達目標)	ジャケット、コート、ドレスワンピースなどの作図を習得すつことで更に力の向上を図る。またPM検定、技術検定対策も含める。パターンの入力から、CADパターンメイキング、縫代付け、グレーディング、マーキングまでを実習する。合同にして実寸の集中とCADの集中を就活に合わせ組めるようにする				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	ジャケット・ベスト、オリジナル絵型プリント配布				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	前期復習		作図指示（前期作図した中から）		
2	ジャケット作図		ジャケット・ベストP24～27		
3	2ndパターン作図		ジャケット・ベストP58～61		
4	2ndパターン作図		ジャケット・ベストP58～61		
5	2ndパターン作図		ジャケット・ベストP58～61		
6	裏地展開方法（衿、袖裏）		ジャケット・ベストP58～61		
7	裏地展開方法（衿、袖裏）		ジャケット・ベストP58～61		
8	裏地展開方法（衿、袖裏）		ジャケット・ベストP58～61		
9	マーキング説明（無地、柄）		ジャケット・ベストP62～66		
10	マーキング説明（無地、柄）		ジャケット・ベストP62～66		
11	絵型からのパターン作図①ブルゾン		絵型配布①		
12	絵型からのパターン作図①ブルゾン		絵型配布①		
13	絵型からのパターン作図②ワンピース		絵型配布②		
14	絵型からのパターン作図②ワンピース		絵型配布②		
15	絵型からのパターン作図③ジャケット		絵型配布③		
16	絵型からのパターン作図③ジャケット		絵型配布③		
17	オリジナルデザイン作図		各自ハンガーイラスト作成		
18	オリジナルデザイン作図、2ndパターン		縫い代付けまでして提出		
19	オリジナルデザイン作図、2ndパターン		縫い代付けまでして提出		
20	復習		ノートをまとめて提出		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
ノート提出40%、試験60% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			作図方法が合っているだけでなく、綺麗な線、曲線、各アイテムをバランス良く引くようにする。		
実務経験教員の経歴	アパレル業でパタンナー歴7年、生産管理8年、CADオペレーター歴3年係わっていた。				

国際トータルファッション専門学校 シラバス

科目名	ドレーピングⅡ				
担当教員	金房 洋子		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションデザイン科、 ファッション専攻科、 トータルファッション科	対象学年	3	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	3	時間数	60時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	絵型からパターンを読み取り、トータル製作からドラフティングまでを行い、より高度な技術を習得する。				
学習目標 (到達目標)	ジャケットA・Bのドレーピング、工業パターン、仕様書作成し、提出。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	立体裁断・基礎編、ジャケット・ベスト				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	ボディラインチェック、生地準備		立体裁断P29～32		
2	ジャケットAドレーピング		立体裁断P200～208		
3	ジャケットAドレーピング		立体裁断P200～208		
4	ジャケットAドレーピング		立体裁断P200～208		
5	ジャケットAドレーピング		立体裁断P200～208		
6	ジャケットAドラフティング		立体裁断P200～208		
7	ジャケットAドラフティング		立体裁断P200～208		
8	ジャケットA縫い代付け		スーツ・ベストP57～61		
9	ジャケットA縫い代付け		スーツ・ベストP57～61		
10	ジャケットA縫い代付け		スーツ・ベストP57～61		
11	ジャケットA仕様書、指示書		プリント配布		
12	ジャケットBドレーピング		立体裁断P29～32		
13	ジャケットBドレーピング		立体裁断P29～32		
14	ジャケットBドレーピング		立体裁断P29～32		
15	ジャケットBドレーピング		立体裁断P29～32		
16	ジャケットBドラフティング		立体裁断P29～32		
17	ジャケットBドラフティング		立体裁断P29～32		
18	ジャケットB縫い代付け		スーツ・ベストP57～61		
19	ジャケットB縫い代付け		スーツ・ベストP57～61		
20	ジャケットB仕様書、指示書		プリント配布		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
実習課題提出100% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			製作物の仕上がりが不完全であればD評価とする場合もあるので、作図方法が合っているだけでなく、綺麗な線、曲線、各アイテムをバランス良く引くようにする。		
実務経験教員の経歴		パターンナーとしてメーカーで6年、独立して25年係わっている			

科目名	ドレーピングⅡ				
担当教員	金房 洋子	実務授業の有無	○		
対象学科	ファッションデザイン科、 ファッション専攻科、 トータルファッション科	対象学年	3	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	3	時間数	60時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	絵型からパターンを読み取り、トワル製作からドラフティングまでを行い、より高度な技術を習得する。				
学習目標 (到達目標)	モードコピーを縫い上げ完成させ提出する。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	立体裁断・基礎編、ジャケット・ベスト				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	モードコピー絵型選択		選択した絵型と教科書を照らし合わせ作図していく		
2	モードコピー立体裁断		平面作図、ドレーピング		
3	モードコピー立体裁断		平面作図、ドレーピング		
4	モードコピー立体裁断		平面作図、ドレーピング		
5	モードコピー立体裁断		平面作図、ドレーピング		
6	モードコピー立体裁断		平面作図、ドレーピング		
7	モードコピー立体裁断		補正		
8	モードコピー立体裁断		チェック、検討会		
9	ドラフティング		繋がりが良く引き直す		
10	ドラフティング		繋がりが良く引き直す		
11	ドラフティング		繋がりが良く引き直す		
12	縫い代付け		角処理に注意し、長さチェックも行う。		
13	縫い代付け		角処理に注意し、長さチェックも行う。		
14	縫い代付け		角処理に注意し、長さチェックも行う。		
15	縫製		縫製工程に無駄が無いように縫製してく。		
16	縫製		縫製工程に無駄が無いように縫製してく。		
17	縫製		縫製工程に無駄が無いように縫製してく。		
18	縫製		縫製工程に無駄が無いように縫製してく。		
19	縫製仕様書		プリント配布		
20	まとめ		トワル、パターン提出		
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
課題提出100% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		製作物の仕上がりが不完全であればD評価とする場合もあるので、作図方法が合っているだけでなく、綺麗な線、曲線、各アイテムをバランス良く引くようにする。			
実務経験教員の経歴	パターンナーとしてメーカーで6年、独立して25年係わっている				

科目名	3DCG・CAD				
担当教員	関川 政春	実務授業の有無	○		
対象学科	ファッションデザイン科、 ファッション専攻科、 トータルファッション科	対象学年	3	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用	遠隔授業		
授業概要、目的、 授業の進め方					
学習目標 (到達目標)					
テキスト・教材・参 考図書・その他資料					
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
実習課題100% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		アバレルCADⅠ、Ⅱで学んだことをしっかりと復習して実習に臨むこと。 CAD処理メニュー知識が不足していると実習が理解できないことがある。 必須の課題は、全て提出すること。			
実務経験教員の経歴	ボタンメーカー(洋服設計者)として、アバレル企業現場において13年間関わっていた。				

科目名	3DCG・CAD				
担当教員	関川 政春		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションデザイン科、 ファッション専攻科、 トータルファッション科	対象学年	3	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方					
学習目標 (到達目標)					
テキスト・教材・参 考図書・その他資料					
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
実習課題100% 成績評価基準は、A(80点以上)、B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下) とする。			アパレルCADⅠ、Ⅱで学んだことをしっかりと復習して実習 に臨むこと。CAD操作メニュー知識が不足していると、 実習が理解できないことがある。 必須の課題は、全て提出すること。		
実務経験教員の経歴	パタンメーカー(洋服設計者)として、アパレル企業現場において13年間関わっていた。				

科目名	パターンメイキング検定対策				
担当教員	松田 百代		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションデザイン科、 ブライダルコスチュームデザイン科、 トータルファッション科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	ファッション造形知識・技術とパターンメイキングに関する基礎知識技術を習得し、パターンメーカーとしての基礎的な実技能力を習得する。				
学習目標 (到達目標)	パターンメイキング検定3級取得を目指す。(試験日12/11)				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	PM技術検定試験3級ガイドブック、パターンメイキング技術試験3級試験問題解答・解説集				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	検定意識付け				
2	理論		PM技術検定試験3級ガイドブックP24～57		
3	理論		PM技術検定試験3級ガイドブックP60～75		
4	理論		PM技術検定試験3級ガイドブックP60～75		
5	理論(身頃)		PM技術検定試験3級ガイドブックP76～99		
6	理論(身頃)		PM技術検定試験3級ガイドブックP76～99		
7	理論(袖)		PM技術検定試験3級ガイドブックP100～109		
8	理論(袖)		PM技術検定試験3級ガイドブックP100～109		
9	理論(スカート)		PM技術検定試験3級ガイドブックP110～119		
10	理論(スカート)		PM技術検定試験3級ガイドブックP110～119		
11	理論(工業用)		PM技術検定試験3級ガイドブックP160～183		
12	理論(工業用)		PM技術検定試験3級ガイドブックP160～183		
13	理論(縫い代)		PM技術検定試験3級ガイドブックP184～197		
14	理論(縫い代)		PM技術検定試験3級ガイドブックP184～197		
15	理論(グレーディング)		PM技術検定試験3級ガイドブックP220～251		
16	理論(グレーディング)		PM技術検定試験3級ガイドブックP220～251		
17	理論テスト		プリント配布		
18	理論テスト		プリント配布		
19	理論テスト		プリント配布		
20	理論テスト		プリント配布		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
授業内課題40%、試験60% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			繰り返し問題を解き、復習をしっかりとしておく。		
実務経験教員の経歴	CADオペレーター、現場班長として縫製現場において10年間関わっていた。				

科目名	パターンメイキング検定対策				
担当教員	松田 百代		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションデザイン科、 ブライダルコスチュームデザイン科、 トータルファッション科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	ファッション造形知識・技術とパターンメイキングに関する基礎知識技術を習得し、パターンメーカーとしての基礎的な実技能力を習得する。				
学習目標 (到達目標)	パターンメイキング検定3級取得を目指す。(試験日12/11)				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	PM技術検定試験3級ガイドブック、パターンメイキング技術試験3級試験問題解答・解説集				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	作図①		過去問題①配布		
2	作図①、生地準備		過去問題①配布		
3	実技①		トワルに着せ付け提出		
4	作図②		過去問題②配布		
5	作図②、生地準備		過去問題②配布		
6	実技②		トワルに着せ付け提出		
7	作図①		模擬テスト①		
8	実技①		トワルに着せ付け提出		
9	作図②		模擬テスト②		
10	実技②		トワルに着せ付け提出		
11	実技①		トワルに着せ付け提出		
12	生地準備		しっかりときちんと準備する。		
13	生産管理について講義		プリント配布		
14	仕様書作成 (シャツA)		仕様書配布		
15	仕様書作成 (パンツA)		仕様書配布		
16	仕様書作成 (ジャケットA)		仕様書配布		
17	仕様書作成 (シャツB)		仕様書配布		
18	仕様書作成 (パンツB)		仕様書配布		
19	仕様書作成 (ジャケットA)		仕様書配布		
20	仕様書作成 (オリジナル)		仕様書配布		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
授業内課題100% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			事前準備をしっかりと行うこと。特に生地準備は丁寧に、きちんと地直しをしておくこと。		
実務経験教員の経歴	CADオペレーター、現場班長として縫製現場において10年間関わっていた。				

科目名	就職実務 IV				
担当教員	金川 愁		実務授業の有無	×	
対象学科	トータルファッション科	対象学年	3	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	20時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、授業の進め方	1、就職の面接練習 2、企業研究の方法を知る 3、エントリーシート対策				
学習目標 (到達目標)	ファッション業界の就職活動において企業研究が出来自己PR面接に活かせるようになる				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	自己PR文章作成 1		エントリーシート・履歴書用自己PRの作成		
2	自己PR文章作成 2		エントリーシート・履歴書用自己PRの作成		
3	自己PR文章作成 3		エントリーシート・履歴書用自己PRの作成		
4	GD対策 1		GD対策授業面接練習		
5	GD対策 2		GD対策授業面接練習		
6	GD対策 3		GD対策授業面接練習		
7	グループ面接対策 1		グループ面接実践		
8	グループ面接対策 2		グループ面接実践		
9	グループ面接対策 3		グループ面接実践		
10	グループ面接対策 4		グループ面接実践		
11	メールのマナー・添え状・お礼状など		メールでの文章作成の基本。添え状テンプレート作成		
12	企業リストアップ 1		企業研究を深め企業を絞り込む		
13	企業リストアップ 2		企業研究を深め企業を絞り込む		
14	適性検査の基本		適性検査について評価のポイント		
15	SPA対策		SPA試験対策指導		
16	社会人マナー検定対策 1		社会人常識マナー検定対策授業		
17	社会人マナー検定対策 2		社会人常識マナー検定対策授業		
18	社会人マナー検定対策 3		社会人常識マナー検定対策授業		
19	社会人マナー検定対策 4		社会人常識マナー検定対策授業		
20	社会人マナー検定対策 5		社会人常識マナー検定対策授業		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
社会人常識マナー検定模擬試験での評価 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			特になし		
実務経験教員の経歴	セレクトショップにてFAを7年間、販売、VMD業務に関わっていた				

科目名	就職実務 IV				
担当教員	金川 愁		実務授業の有無	×	
対象学科	トータルファッション科	対象学年	3	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	20時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、授業の進め方	1、就職の面接練習 2、企業研究の方法を知る 3、エントリーシート対策				
学習目標 (到達目標)	ファッション業界の就職活動において企業研究が出来自己PR面接に活かせるようになる				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	社会人常識マナー検定対策6		社会人常識マナー検定対策授業		
2	社会人常識マナー検定対策7		社会人常識マナー検定対策授業		
3	社会人常識マナー検定対策8		社会人常識マナー検定対策授業		
4	内定者/他課題制作授業 未内定者/個別指導		内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
5	内定者/他課題制作授業 未内定者/個別指導		内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
6	内定者/他課題制作授業 未内定者/個別指導		内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
7	内定者/他課題制作授業 未内定者/個別指導		内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
8	内定者/他課題制作授業 未内定者/個別指導		内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
9	内定者/他課題制作授業 未内定者/個別指導		内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
10	内定者/他課題制作授業 未内定者/個別指導		内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
11	内定者/他課題制作授業 未内定者/個別指導		内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
12	内定者/他課題制作授業 未内定者/個別指導		内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
13	内定者/他課題制作授業 未内定者/個別指導		内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
14	内定者/他課題制作授業 未内定者/個別指導		内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
15	内定者/他課題制作授業 未内定者/個別指導		内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
16	内定者/他課題制作授業 未内定者/個別指導		内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
17	内定者/他課題制作授業 未内定者/個別指導		内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
18	内定者/他課題制作授業 未内定者/個別指導		内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
19	内定者/他課題制作授業 未内定者/個別指導		内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
20	内定者/他課題制作授業 未内定者/個別指導		内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
社会人常識マナー検定模擬試験での評価 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			特になし		
実務経験教員の経歴	セレクトショップにてFAを7年間、販売、VMD業務に関わっていた				

国際トータルファッション専門学校 シラバス

科目名	卒業制作				
担当教員	神戸 悠太	実務授業の有無	○		
対象学科	ファッションデザイン科、 ファッション専攻科、 トータルファッション科	対象学年	3・4	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	20時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	1.パターン・トワル制作 2.作品一体の縫製				
学習目標 (到達目標)	3年間の集大成として各自作品1体を縫製し、ファッションショー形式で発表する				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	作図道具・縫製道具				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	1stパターン		平面作図①		
2	1stパターン		平面作図①		
3	1stパターン		平面作図②		
4	トワル制作		作図写し		
5	トワル制作		トワル組みたて		
6	トワルチェック		トワルチェック・生地チェック		
7	2ndパターン		パターン修正		
8	2ndパターン		縫代付け・カット		
9	縫製		裁断・芯貼り		
10	縫製		部分縫い①		
11	縫製		部分縫い②		
12	縫製		組みたて①		
13	縫製		組みたて②		
14	仕上げ・修正		仕上げ・アイロン		
15	作品完成		提出		
16	フィッティング		モデル試着・修正		
17	作品修正		サイズなど修正		
18	最終フィッティング		最終フィッティング		
19	リハーサル		着せ付け・ウォーキングリハーサル		
20	ファッションショー		ファッションショー形式で発表		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
課題：パターン/仕様書 パターン正確性40%、仕様書正確性40%、学習意欲20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下) とする。			課題は全て提出すること 最後の作品として独自性と責任感をもって制作すること		
実務経験教員の経歴	オリジナルブランドの経営を12年間、ショップ経営を3年間行っていた				

国際トータルファッション専門学校 シラバス

科目名	卒業制作				
担当教員	神戸 悠太	実務授業の有無	○		
対象学科	ファッションデザイン科、 ファッション専攻科、 トータルファッション科	対象学年	3・4	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	20時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	1.パターン・トワル制作 2.作品一体の縫製				
学習目標 (到達目標)	3年間の集大成として各自作品1体を縫製し、ファッションショー形式で発表する				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	作図道具・縫製道具				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	1stパターン		平面作図①		
2	1stパターン		平面作図①		
3	1stパターン		平面作図②		
4	トワル制作		作図写し		
5	トワル制作		トワル組みたて		
6	トワルチェック		トワルチェック・生地チェック		
7	2ndパターン		パターン修正		
8	2ndパターン		縫代付け・カット		
9	縫製		裁断・芯貼り		
10	縫製		部分縫い①		
11	縫製		部分縫い②		
12	縫製		組みたて①		
13	縫製		組みたて②		
14	仕上げ・修正		仕上げ・アイロン		
15	作品完成		提出		
16	フィッティング		モデル試着・修正		
17	作品修正		サイズなど修正		
18	最終フィッティング		最終フィッティング		
19	リハーサル		着せ付け・ウォーキングリハーサル		
20	ファッションショー		ファッションショー形式で発表		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
課題：パターン/仕様書 パターン正確性40%、仕様書正確性40%、学習意欲20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下) とする。			課題は全て提出すること 最後の作品として独自性と責任感をもって制作すること		
実務経験教員の経歴	オリジナルブランドの経営を12年間、ショップ経営を3年間行っていた				